学校番号	１１５

平成 31 年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年	２年
類型等	文型・理型（共通）						
使用教科書	「現代高等保健体育」　（大修館書店）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・健康・安全について理解しよう。
・健康的な生活行動について学ぶ。
・日常生活で直面するであろう健康課題を知り、その解決方法を考える。
・健康や安全についての社会的な取組みや個人での対応について知る。
・身近な健康問題に興味を持ってもらう。

2　学習の到達目標

・生涯を通じての健康について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。
・社会生活と健康について調べ学習を取り入れ、身近な問題として理解させる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:知識・理解
観点の趣旨	健康を保持増進するためには、自らの健康を適切に管理することおよび環境を改善していくことが重要であることに関心を持ち、個人生活及び社会生活における健康・安全課題について、意欲的に学習に取り組もうとする。	健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題についての解決をめざして、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらをあらわしてる。	健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題の解決に役立ち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基礎的な事項を理解している。
評価方法	ワークシート ディスカッション ブレインストーミング など	定期テスト ワークシート ディスカッション ブレインストーミング その他成果物等	定期テスト ワークシート ディスカッション ブレインストーミング その他成果物等

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	単元（題材）の評価規準	評価方法
1学期	生涯を通じる健康	１思春期と健康	○	○	○	a:思春期と健康、結婚生活・妊娠・出産と健康について調べるなどの学習活動に取り組もうとする。 b: 思春期と健康、結婚生活・妊娠・出産と健康について個人及び社会生活や事例などと比較・分析したり、説明することができる。 c: 思春期と健康、結婚生活・妊娠・出産と健康について記述・説明ができる。	課題学習の成果物 ﾌﾞﾚｲﾝｽﾄｰﾐﾝｸﾞの成果物 班別発表への取組、資料や発表内容 定期テスト等
		２性意識と性行動の選択					
		３結婚生活と健康					
		４妊娠・出産と健康					
		５家族計画と人工妊娠中絶					
		６加齢と健康	○	○	○	a:加齢と健康、国や地域の保健・医療制度、医薬品、さまざまな保健活動や対策について調べるなどの学習活動に取り組もうとする。 b: 加齢と健康、国や地域の保健・医療制度、医薬品、さまざまな保健活動や対策について資料等で調べ課題を見つけたり、個人及び社会生活と比較・分析したり、説明することができる。 c: 加齢と健康、国や地域の保健・医療制度、医薬品、さまざまな保健活動や対策について理解したことを記述・説明ができる。	課題学習の成果物 ﾌﾞﾚｲﾝｽﾄｰﾐﾝｸﾞの成果物 班別発表への取組、資料や発表内容 定期テスト等
		７高齢者のための社会的取り組み					
		８保健制度とその活用					
2学期		９医療制度とその活用					
		１０医薬品と健康					
		１１さまざまな保健活動や対策					
	社会生活と健康	１大気汚染と健康	○	○	○	a:環境の汚染と健康、健康の保持増進のための環境と食品の保健、労働災害と健康、働く人の健康の保持増進について資料を探したり調べるなどの学習活動に取り組もうとする。 b: 環境の汚染と健康、健康の保持増進のための環境と食品の保健、労働災害と健康、働く人の健康の保持増進について対策について資料等で調べ課題を見つけたり、個人及び社会生活と比較・分析したり、説明することができる。 c: 環境の汚染と健康、健康の保持増進のための環境と食品の保健、労働災害と健康、働く人の健康の保持増進について理解したことを記述・説明ができる。	課題学習の成果物 ﾌﾞﾚｲﾝｽﾄｰﾐﾝｸﾞの成果物 班別発表への取組、資料や発表内容 定期テスト等
		２水質汚濁・土壌汚染と健康					
		３健康被害の防止と環境対策					
		４環境衛生活動のしくみと働き					
3学期		５食品衛生活動のしくみと働き					
		６食品と環境の保健と私たち					
		７働くことと健康					
		８労働災害と健康					
		９健康的な職業生活					

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

○上に示す観点に基づいて、出席状況、授業への取組姿勢、や定期テストなどを総合的に判断し、学習のまとまりごとに評価、学年末に５段階の評価にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し評価します。